取手地方広域下水道組合　　２０２３年７月２８日
管理者　　中村　修　様

日本共産党取手市議会議員
関戸　勇　　加増充子
遠山智恵子　佐野太一
日本共産党つくばみらい市議会議員
古川よし枝　　間宮美知子

「取手地方広域下水道使用料の改定について」住民説明会を行うことを求める申し入れ

大暑の候、日頃から地域住民の生活環境づくりにご尽力をいただき、敬意を表します。

公共料金や物価高騰で、住民の暮らしは大変逼迫している今日です。こうした状況の下、去る７月２１日の議員説明会で２０２４年４月からの下水道使用料の値上げが提案されました。その中で、住民への説明は議決前には行わないと説明がありましたが、公共下水道整備は、市民が健康で快適な生活を営む上で欠かすことができない都市施設であり、公衆衛生の向上に寄与することを目的にし、市民生活に直結するものです。ところが組合は、今後人口減などが進む中、「使用料で賄うべき汚水処理に要する費用が現在の使用料を上回る状態であり、経営状態の立て直しには使用料改定は不可欠」としています。しかし、汚水処理量を過大に見込んだ計画と施設整備が、維持管理費用と汚水処理に要する費用を拡大させたことは明らかであり、使用料値上げで住民に一方的に負担増を求めることは、理解を得られるものではありません。

下水道審議会の答申では、「下水道使用料改定について市民及び使用者の理解と同意が得られるよう説明責任を果たすこと」と意見が付帯されています。これまでの「住民への説明はしない」との組合の姿勢は審議会のいう「使用料の改定について、市民及び使用者の理解と同意が得られるような説明責任」は果たせません。

よって、料金改定が決定する前に住民説明会を行うことを求めます。